

いつも当組合の活動にご理解とご協力を頂きまして、誠にありがとうございます。

早速ですが、誠に残念な決定ですが、今年度以降の「消費国研修」(情報委員会主催)につきまして、諸事情から、「中止」する旨が決定されました。
つきましては、取り急ぎ、組合員・賛助会員の皆様に添付の通り、ご連絡申し上げます。

このたびの中止に至りました事情につきましては、添付しました、連合会長名による書面に縷々記述の通りでございます。
まずは、添付書面をご一読いただきたいと存じます。

組合員・賛助会員の各社さまにおかれては、本年度の「消費国研修」に社員様の派遣をご検討されておられたことと拝察いたしますが、派遣をご予定された各社様には、誠に申し訳ありませんが、ご事情ご賢察のうえ、何卒ご承知いただきますようお願い致します。

なお、検定委員会が主催します、「第5回生産国研修」につきましては、本年度も予定通り実施する予定となっております。

皆様には、すでに「ご案内書」(パンフレット)をお届けしておりますので、お届けしたパンフレットをご覧いただきまして、是非ともそちらへのご参加をご検討頂ければ幸いに存じあげます。

* パンフレットPDF :

<http://www.ajcra.org/oshirase/pdf/2016Indonesia.pdf>

なお、連合会としましては、このたびの「消費国研修」の中止(実施見送り)に伴いまして、本研修事業(「教育・情報事業」)に代わる、新たな事業活動について、企画・検討を進め、早期に具現化を図ることです。
詳細が決定次第、あらためて皆さまにご案内申し上げます。
その際は、是非とも、ご参加をご検討頂きますよう、宜しくお願い申し上げます

全日本コーヒー商工組合連合会事務局
南本

2016 年 8 月 15 日

連合会会員、賛助会員 各位

全日本コーヒー商工組合連合会

代表理事会長 萩原孝治郎

連合会主催『消費国研修』は本年度以降の実施を中止とさせていただきます

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素、連合会の運営に多大なるご理解とご協力を賜り、有り難く厚く感謝申し上げます。

さて、連合会では、最先端のコーヒーの加工、抽出、消費などを視察する「消費国研修」を行っており、途中 2 回の中止があったものの、1997 年の第 1 回から 2016 年の第 17 回までに合計 461 名の方が消費国研修に参加されました。

視察内容の性格上、訪問先はヨーロッパが中心になり、イタリアやオーストリアなどに数多く訪問したため、訪問先も重複してしまう等もあり、2010 年以降は参加者が 20 名を下回っており、今後も参加者の増加は見込めないと推測されます。

また、ヨーロッパではイスラム過激派による無差別テロが相次いで発生し、日本人にも被害が及んでいることから、研修団に不測の事態が起きることも大きく懸念されるところです。こうしたことから、研修団への安全面での実効性のあるテロ対策が講じられ、また、参加者の増加が見込まれる状況となるまで「消費国研修」の実施を見合わせることを決定しました。

連合会では、消費国研修に代わる新たな研修事業を企画いたしますので、新企画の準備が整い次第、ご案内申し上げます。

連合会会員、賛助会員各位にはご迷惑をお掛けいたしますが、諸事情ご賢察の上、何卒ご理解ご了承賜りますようお願い申し上げます。

検定委員会では、2016 年 11 月頃、インドネシア、スマトラ島を訪問し、マンデリンを中心としたコーヒーの栽培、精選工程を学ぶ「生産国研修」を予定しております。

検定講師が同行する中身の濃い研修ですので、「消費国研修」への参加を検討されていた方は、「生産国研修」へのご参加を是非ご検討ください。

敬具